

こんにちは 町の長 です

三月は卒業の時期、義務教育最後の三ヶ年の中学校時代は、人生の中でも肉体的にも、精神的にも著しく成長する時期です。



二部小学校福岡分校休校式にて

今年も岸本中学校八十七名、溝口中学校四十六名の生徒がたくましく立派に成長して、新たな出発に向けて巣立っていきました。二十一世紀の主役として大いなる飛躍を期待しております。また一人でも多く伯耆町に残って伯耆町の将来の担い手になってくれることを願っております。

平成十九年度の当初予算案を三月八日開会の定例議会に提案いたしております。

一般会計の規模は、六十四億二千七百万円で、前年度と比較いたしますと一億六千五百万円減。率にして二・五%の減となりました。

平成十九年度の重点施策といえます。厳しくなっております。財政環境の中で、財政の健全化を図り、持続可能な財政

基礎の確立を目指すことを最優先課題と位置付けております。また、住民参画による協働のまちづくりに向けた体制の整備、企業誘致の積極的な推進を図ってまいります。

事業面での主要な施策として、スクールバス事業、デマンドバス事業など地域交通の一元化を図る。老朽化が進んでおりますこしき保育所の改築事業、中学校三十三人学級の実施や教育指導主事の任用など、教育行政の充実を期してまいります。ほか、継続建設事業の事業促進を図り、社会資本の整備、拡充に力を注いでまいります。

戸籍の窓

赤ちゃん誕生

氏名	性別	保護者	住所
亀口 仁香	女	藍伸香	真野
後藤 汐風	女	ルミ子	大野
實重 花霞	女	武志	大野
田辺 輝	男	裕樹	長

氏名	年齢	住所
井上 脩	81歳	清原
松田 一光	48歳	吉定
船森 重子	97歳	岩屋谷
天場 頼子	76歳	二部
山本 一夫	75歳	二部
仲村 昌	96歳	福岡
安達 千代	85歳	福岡
山本 一郎	95歳	溝口
圓山 公子	84歳	宮原
圓山 百代	87歳	長山
三須 綾子	78歳	添谷

役場情報 (3月末までの組織名です)

伯耆町役場本庁舎 〒689-4133 伯耆町吉長37番地3 TEL 68-3111(代表) FAX 68-3866		分庁舎 〒689-4292 伯耆町溝口647番地 TEL 62-0711(代表) FAX 62-7172	
3階	議会事務局 (68-3112)	3階	教育委員会事務局 総務学事室 (62-0927) 生涯学習室 (62-0712) 人権政策室 (62-0713)
2階	自治振興課 組織管理室 (68-4211) 政策管理室 (68-4212) 町づくり推進室 (68-3113)	2階	農業委員会事務局 (62-0715) 自治振興課 地域交通準備室(62-0722)
1階	総合福祉課 健康増進室 (68-5536) 福祉支援室 (68-5534) 総合生活相談室 (68-5535) 住民生活課 生活環境室 (68-3115) 税務室 (68-3114) 建設室 (68-5539) 上下水道室 (68-5540) 地域整備課 地籍調査室 (68-5538) 会計課 出納室 (68-4213)	1階	分庁統括課 産業振興課 総合窓口室 (62-0711) 商工観光室 (62-0714) 農林水産室 (62-0723)

4月のほうき情報カレンダー

1 日		17 火	困りごと・行政相談 (13:00~15:00 岸本公民館)
2 月	国民健康保険税(第8期)、ケーブルテレビ(第6期)、上下水道料金 納期限	18 水	不用犬、猫引取日 (8:50~9:00 本庁舎又は分庁舎) 乳幼児検診 (午後 溝口福祉センター)
3 火		19 木	
4 水		20 金	
5 木		21 土	
6 金	BCG予防接種 (午後 溝口福祉センター)	22 日	
7 土		23 月	
8 日		24 火	
9 月		25 水	人権・行政相談 (10:00~12:00 溝口公民館)
10 火	心配ごと・人権相談 (13:00~15:00 岸本公民館)	26 木	
11 水	5歳児検診 (午後 岸本保健福祉センター)	27 金	
12 木	3歳児検診 (午後 岸本保健福祉センター)	28 土	
13 金		29 日	第3回伯耆町バドミントン大会 (9:00~ 町民岸本体育館 他)
14 土		30 月	
15 日		5/1 火	
16 月	ポリオ予防接種 (午後 岸本保健福祉センター)	2 水	

ついで

今月の表紙は、日光地区で作られたりんごジャムが大福という形で商品化されましたのでりんごジャム作りに取材に行きました。伯耆町のりんごが認められたことで、私自身うれしく思いました。

伯耆町にはまだまだたくさんすばらしい物があります。この伯耆町で作られたすばらしい物をできるだけ多くの人に知っていただき、また、伯耆町で生活している方には誇りと愛着をもって暮らしていただきたいと私自身思っています。

舟越

